

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の分析と対策について

西川町教育委員会

校種・教科	全国との比較	分析結果 全国平均と比べて特に（○）正答率が高い学習内容 （▲）低い学習内容	対策・改善策
小学校 国語	全国平均を下回る	○目的や意図に応じた資料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○文中における主語と述語の関係をとらえることができる。 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ▲目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。 ▲目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することができる。	□ 全体としては、60～100字の記述式にも対応できる力はある。日常的に、集めた情報やメモなどから必要な事項を選んで書くことに取り組んでいく。記述に苦手意識がある児童に、着目すべき点を指導していく。 □ 4択では、正解以外の残りの3つの候補に惑わされ、偏りなく選んでいる傾向がある。出題場面や条件など、叙述に即した根拠をもつことを指導していく。
中学校 国語	全国平均を下回る	○意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを、明確にすることができる。 ○短歌の内容について描写を基に捉えることができる。 ▲必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。 ▲資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。	□ 聞きなれない用語や吹き出し形式の話し合い状況など問題の全体像をつかむことへの戸惑いが見られる。話し合いの流れをつかんだり、図から状況をつかんだりする力が弱いため、要約してキーワードを捉えられるようにする。 □ 記述式には、おおむね正答できているが、条件が2つそろわない場合がある。文章を分析的に読み返し、問い直すことができるようにする

小学校 算数	全国平均を下回る	○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。 ○球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。 ○角柱の底面や側面に着目し、五角形の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。 ▲問題場面の数量関係を捉え、式に表すことができる。 ▲除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している ▲直方体の見取り図について理解し、かくことができる。 ▲除数が小数である場合の除法の計算ができる。	□ 記述式にも粘り強く取り組むことができる。条件に合わせて、記述はできるが、グラフなど読み取りを含んだ構造の問題には弱い。グラフの読み取りから記述につなぐなど、単発解答ではない問題にも慣れていくようにする。 □ 知識・技能の問題での取りこぼしが見られる。除法や見取り図など全国的に正答率の高い問題でのつまずきがある。選択肢に惑わされることのないように、計算の仕組みなど基本を理解できるようにする。
中学校 数学	全国平均を下回る	○回転移動について理解している。 ○総合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる。 ○与えられたデータから最頻値を求めることができる。 ○複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる。 ▲連続する2つの偶然を、文字を用いた式に表すことができる。 ▲一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している。 ▲目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ▲簡単な場合について、確立をもとめることができる。	□ 図などを使った複数のデータから比較する問題の正答率が高い。問題の見方考え方を理解し、比較しながら解くことができた。今後もこの強みを活かしていく。 □ 法則性を見つけ、文字を用いて、式に表すことや、文字に数値を代入して変化をとらえることに課題がある。【A 数と式】【C 関数】どちらも、文字を用いた問題の正答率が低い。どの領域でも、抽象度が上がる問題に対して具体的にイメージできるように、ICT 機器も利用しながら、理解を深めるようにしていく。

◆学習状況調査（学校や家で勉強や生活の様子）の結果から ※特徴的な部分のみ

	特徴的な傾向（全国と比べて高い○ 低い▲）	今後の取り組み◎
小学校	○ 学校に行くのは楽しい。友達関係に満足している。 ○ 国語の勉強は好きだ。算数の勉強は好きだ。 ○ 携帯電話やスマートフォンの使い方について家の人と約束したことを守っている。 ○ ICT 機器を活用することで友達と協力しながら学習を進めることができる。 ▲ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ▲ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる ▲ 国語の授業で違う点や似ている点を意識したり図で示したりしながら情報を整理している ▲ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫している ▲ 友達との間で話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができている ▲ 学習内容について、分かった点などを見直し、次の学習につなげることができている	◎ 目標設定を明確にして、自分自身でやり遂げたと感じる学習や生活体験の場を増やし、自分の成長を実感し、自尊感情を高める取り組みが必要。 ◎ 楽しく学習ができているが、主体的に学び方を工夫したり、生活が結び付け情報を発信したりする発展的な学習が必要。
中学校 全国と比べて3%上の差がある▲項目なし。	○ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○ 学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たり1時間以上勉強をしている。 ○ 学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強をしている。※（全国平均より高いが、校内では55%） ○ 1、2年生までに受けた授業で、ICT 機器を週1回以上使用している。 ○ 国語の授業で自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。 ○ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。 ○ 英語を聞いて概要や要点をとらえる活用が行われていたと思う。 ○ 原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。 ○ 理科の勉強は好きだ。 ○ 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。 ○ 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。 ○ 学習内容について、分かった点などを見直し、次の学習につなげることができている。 ○ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりしている。	◎ 良好な人間関係の中で、主体的、対話的な学習が展開されている。今後もそれらの活動を充実させていく。 ※ ICT 機器を積極的に活用し、学校以外の時間や休日についても、保護者と連携しながら、家庭学習の質の向上を図る。

◆教育委員会として、結果を公表し、町民と学習状況についての共通理解を図り、学校と連携しながら課題の解決を図る。

◆これまでの施策について検証し、教育環境や教職員研修の充実を図る。町教育センターの取り組みとして学力向上対策を盛り込み、実施していく。